JP

FUJIFILM

instax mini LiPlay+™

HYBRID INSTANT CAMERA

使用説明書（詳細）

・カメラの機能、仕様はファームウェアのバージョンアップにより、変更される可能性があります。
・ファームウェアをバージョンアップする方法は 2 通りあります。詳しくは「[バージョンアップ]」（p.36）を参照してください。

model number: FI044

FI044-JP-01

目次

カメラの準備 4
カメラをお使いになる前に 4
ストラップを取り付ける 4
各部の名称 5
液晶モニターの表示 7
セレクトボタン / コマンドダイヤルの使い方 8
メモリーカードを使用する 8
メモリーカードを入れる 9
メモリーカードを取り出す 9
充電する 10
充電状態の表示について 10
フィルムカートリッジを入れる 10
電源を入れる／切る 11
バッテリー残量の確認方法 11
初期設定を行う 12
ペアリング設定 13

撮影について 15
基本的な撮影 15
撮影する 15
セルフタイマーを使用して撮影する 16
フラッシュを使用して撮影する 17
AF/AE ロックを使用して撮影する 17
自分自身を撮影する（セルフィー） 18
撮影メニューの項目 18
いろいろな撮影 19
instax Sound Print™ 19
instax Sound Album™ 19
Layered Photo Mode 20
フレームを選ぶ 22
フィルターを選ぶ 22

再生について 23
撮影した画像を再生する 23
再生画面の表示を変更する 23
画像を削除する 24
1 コマ削除するとき 24
複数コマ削除のとき 24
全コマ削除のとき 25
フィルム残量表示について 26
撮影情報を見る 26
再生メニューの項目 27
いろいろな再生 28
再生時に音声を記録する 28
撮影済み画像から instax Sound Album™ を作成する 28

撮影データについて 31
撮影データの保存先 31
micro SD カードを挿入しない場合 31
micro SD カードを挿入した場合 31
撮影・保存可能枚数 31

出力について 32
出力する 32
プリント履歴から出力する 33
フィルムカートリッジを取り出す 33

設定メニュー 34
撮影メニューを使用する 34
再生メニューを使用する 35
カメラ設定を使用する 36
ファームウェアのアップグレード 37

アプリについて..... 38
スマートフォンアプリ連携で使える機能.....38
ギャラリー.....38
ダイレクトプリント機能.....38
リモートシューティング機能.....38
instax Sound Print™ 作成.....38
instax Sound Album™ 作成.....38
スマートフォンアプリを設定する 38
このようなときは..... 39
このようなときは 39
仕様..... 40
安全にご使用いただくために 42
安全にご使用いただくために 42
取扱上のお願い 42
Bluetooth® 機器使用上の注意事項 43
カメラを廃棄するときの注意 44
本機を廃棄するときは.....44
アフターサービスについて.....45
個人情報の取扱について.....45

⚠ フィルムカートリッジの取り扱いに関する注意

フィルムを使い切るまでは、フィルムドアを開けないでください。途中で開けると、フィルムが感光して白くなり、写真が写りません。

カメラの準備

カメラをお使いになる前に

カメラをお使いになる前に、以下を確認してください。

付属品一覧

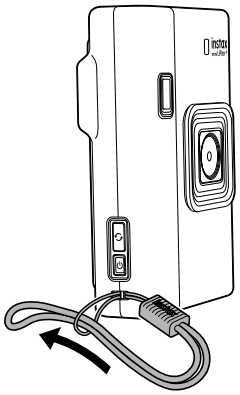
- USB Type-C ケーブル（1 本）（B044A34001）
- ハンドストラップ（1 本）
- 使用説明書

- 工場出荷時にバッテリーはフル充電されていません。ご使用になる前に必ず充電してください。
- 付属のUSB Type-Cケーブルは充電専用です。

ストラップを取り付ける

下図のように取り付けます。

- 落下防止のため、持ち運んだり撮影したりするときは、ストラップに手首を通してください。

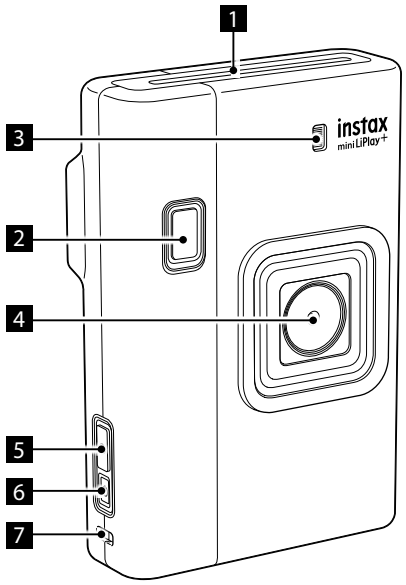


カメラの準備

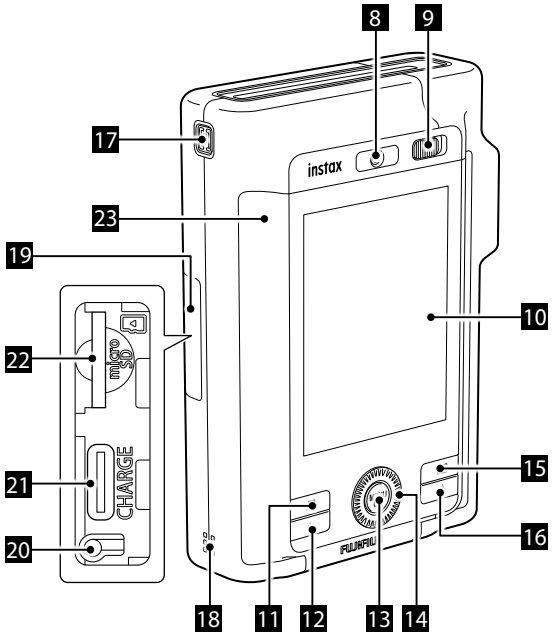
各部の名称

初めてカメラを使用するときは、カメラを充電してください。

前面



背面



1 フィルム排出口

2 シャッターボタン
構図を決め、シャッターボタンを半押ししてピントを合わせます。ピントが合ったことを確認したら、そのまま全押ししてシャッターを切ります。

3 フラッシュ / セルフタイマーランプ
設定に応じて点灯、点滅します。フラッシュ使用時は発光し、セルフタイマーを使用して撮影するときは点滅します。また、充電中に点灯し、充電が完了すると消灯します。

4 メインカメラ用レンズ

5 レンズ切り替えボタン
ボタンを押すとメインカメラとセルフィーカメラを切り替えることができます。

6 ⏻（電源）ボタン
⏻（電源）ボタンを約 1 秒間長押しして、電源をオンまたはオフにします。一定時間操作を行わなかった場合、カメラの電源が自動的に切れます。カメラの電源が自動的に切れたときは、再度電源ボタンを押すと電源が入ります。

7 ストラップフック

8 セルフィーカメラ用レンズ

9 フィルムドアロック

10 液晶モニター

11 🖷（プリント）ボタン
液晶モニターに表示されている画像をプリントします。🖷（プリント）ボタンを押すと通常プリントの他に、instax Sound Album™ が選択できます。instax Sound Album™ では、撮影済み画像からアニメーション動画に使用したい画像を選択し (最大 10 枚)、背景色と音楽を設定することで、アニメーション動画を作成できます。QR コード付き画像を一枚プリントすることで、QR コードから動画を再生できます。

12 ⮌（戻る）ボタン

13 MENU/OK ボタン

14 セレクトボタン / コマンドダイヤル

15 ▶（再生）ボタン
撮影した画像を液晶モニターで再生できます。セレクトボタン / コマンドダイヤルで画像を選び、▶（再生）ボタンを押すと画像が表示されます。
シャッターボタンを全押しすると撮影画面に戻ります。

16 ♪（撮影モード切替）ボタン
撮影モードを切り替えます。ボタンを押すごとに、下記の順にモードが切り替わります。
通常撮影 モ ー ド → instax Sound Print™ → instax Sound Album™ → Layered Photo Mode

17 マイク
マイクを使って最大 10 秒間の音声を録音することが可能です。録音した音は QR コードにして撮影画像と一緒に出力できます。

18 スピーカー

19 マイクロ SD カードスロットカバー

20 リセットボタン
カメラが正常に動作しない場合に押すと、強制的に電源が切れます。リセットボタンを押したときは、電源ボタンを再度オンにして、カメラを起動してください。カメラが正常に動作しているときに使用しないでください。撮影データが失われる場合があります。

21 USB Type-C ケーブル接続部
充電を行うための USB 端子です。

22 マイクロ SD カードスロット

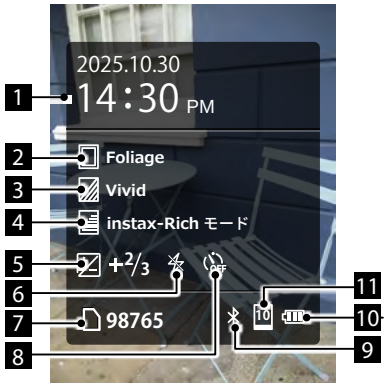
23 フィルムドア

液晶モニターの表示

電源を入れると液晶モニターに撮影画面が表示されます。
- 撮影画面から再生画面へ切り替えるには ▶（再生）ボタンを押してください。
- 再生画面から撮影画面へ切り替えるにはシャッターボタンを押してください。

撮影画面を表示中にMENU/OKボタンを押して、［設定情報］を選択すると、液晶モニターに以下の情報が表示されます。

撮影画面



再生画面を表示中にMENU/OKボタンを押して、［撮影情報］を選択すると、液晶モニターに以下の情報が表示されます。

> ・3 列 /5 列表示のときには、選択した画像が 1 コマ表示されるまで ▶（再生）ボタンを押してください。
> 3 列 /5 列表示については、「表示する画像のコマ数を変更する」（p.23）を参照してください。

再生画面

撮影情報画面　　撮影情報画面
（instax Sound Album™）

1 現在の日付・時刻

2 フレーム名

3 フィルター名

4 プリント画質モード名

5 露出補正

6 フラッシュ

7 撮影可能枚数
メモリカードを使用しているときは、が表示されます。
内蔵メモリーを使用しているときは、が表示されます。
撮影可能枚数が10枚以下になると、アイコンが赤く表示されます。

8 セルフタイマー設定

9 Bluetooth 接続状態表示

10 バッテリー残量表示

11 フィルム残量表示

12 コマ No.

13 撮影日・時刻

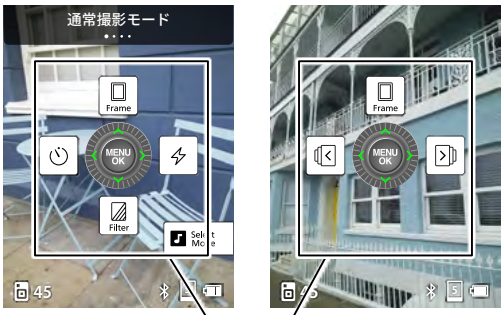
14 音付きプリント送信状態表示

15 コマ No.（instax Sound Album™ 撮影情報画面）
instax Sound Album™に使用した画像のコマNo.の一覧が表示されます。

■セレクトボタン / コマンドダイヤル操作ガイド表示

起動時や画面切替時（撮影画面⇔再生画面）に、セレクトボタン / コマンドダイヤル操作ガイドが表示されます。表示を終了するときは、MENU/OK ボタンや ↩（戻る）ボタンを押してください。

撮影画面　　**再生画面**



セレクトボタン / コマンドダイヤル操作ガイド

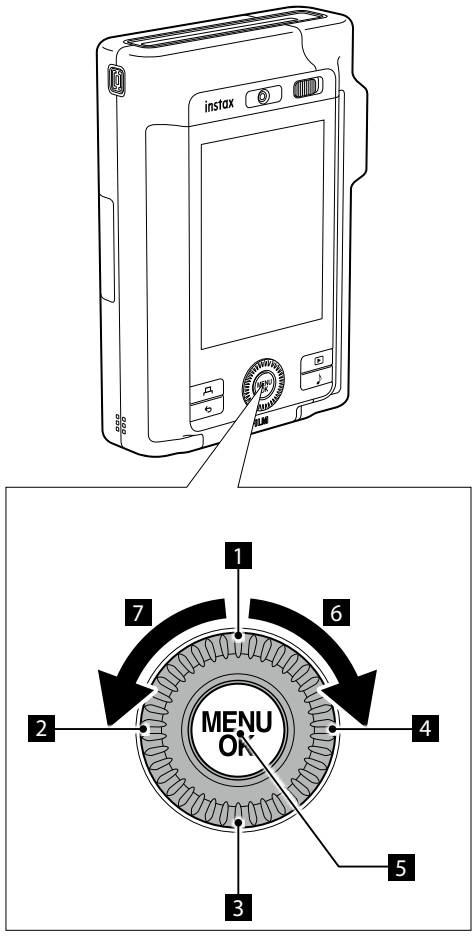
セレクトボタン / コマンドダイヤルの使い方

セレクトボタン：
メニュー項目などの選択や▲▼◀▶キーに割り当てられた機能の呼び出しに使います。

コマンドダイヤル：
コマンドダイヤルをまわしてメニュー項目を選択します。

> ・コマンドダイヤルをまわして、▲▼◀▶キーと同じようにメニュー項目を選択することができます。

MENU/OK ボタン：
メニューの表示や選択の決定に使用します。



1 上に移動します。

2 左に移動します。

3 下に移動します。

4 右に移動します。

5 メニューの表示／選択を決定します。

6 コマンドダイヤルを時計回りにまわすと、右または下に移動します。

7 コマンドダイヤルを反時計回りにまわすとと、左または上に移動します。

メモリーカードを使用する

本機は内蔵メモリーに約 45 枚の静止画を保存できますが、メモリーカードを使用すると、より多くの画像を保存できます。

メモリーカードについての注意

- このカメラに対応しているメモリーカードは micro SD カードまたは micro SDHC カードです。指定以外のメモリーカードをご使用になると、カメラの故障の原因になります。
- メモリーカードは小さいため、乳幼児が誤って飲み込む可能性があります。乳幼児の手の届かない場所に保管してください。万が一、乳幼児が飲み込んだ場合は、直ちに医師と相談してください。
- **メモリーカードのフォーマット中や、データの記録 / 削除中は、カメラの電源をオフにしたり、メモリーカードを取り出したりしないでください。カード損傷の原因になることがあります。**
- 強い静電気、電気的ノイズの発生しやすい環境でのご使用、保管は避けてください。
- 静電気を帯びたメモリーカードをカメラに入れると、カメラが誤作動する場合があります。このようなときはいったん電源を切ってから、電源を入れ直してください。
- ズボンのポケットなどにメモリーカードを入れないでください。座ったときに大きな力が加わり、壊れる恐れがあります。
- 長時間ご使用になった後、取り出したメモリーカードが温かくなっている場合がありますが、故障ではありません。
- メモリーカードにラベルなどを貼らないでください。はがれたラベルが、カメラの誤動作の原因になることがあります。

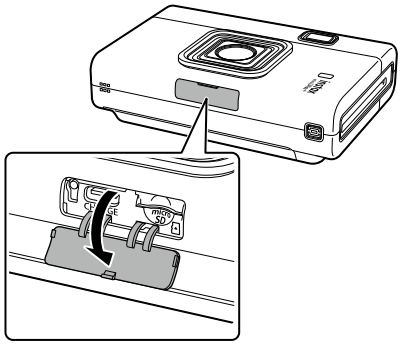
メモリーカードを PC で使用する場合の注意

- 未使用のメモリーカードや、PC やその他の機器で使用したメモリーカードは、必ずカメラでフォーマットしてからご使用ください。
- メモリーカードをカメラでフォーマットして撮影、記録すると、自動的にフォルダが作成されます。PC でメモリーカードのフォルダ名、ファイル名の変更、削除などの操作を行わないでください。メモリーカードをカメラで使用できなくなることがあります。
- メモリーカード内の画像の削除は PC で行わないでください。必ずカメラで行ってください。
- 画像ファイルを編集する場合は、画像ファイルをハードディスクなどにコピーまたは移動し、コピーまたは移動した画像ファイルを編集してください。

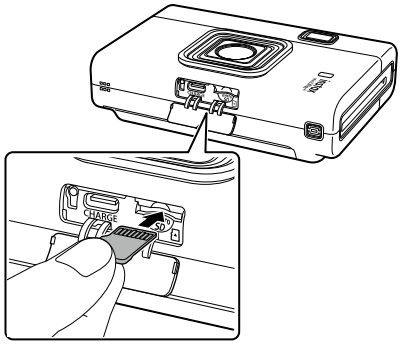
カメラの準備

メモリーカードを入れる

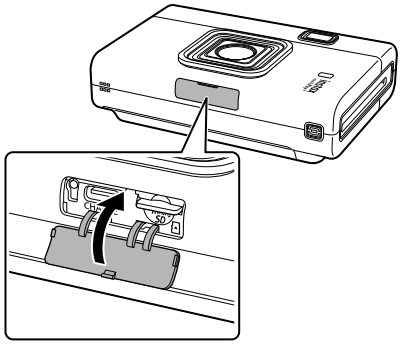
1 カードスロットカバーを開ける



2 図のように正しい向きで、「カチッ」と音がするまでメモリーカードを奥まで差し込む

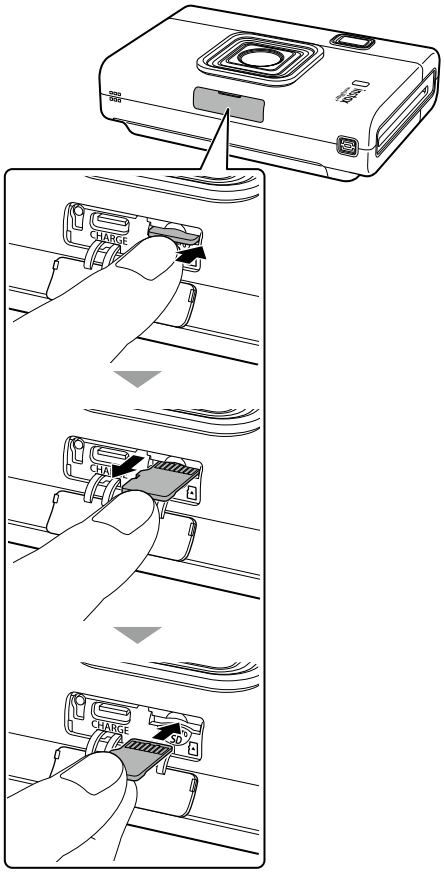


3 カードスロットカバーを閉じる



メモリーカードを取り出す

メモリーカードを取り出す際は、カードスロットから飛び出さないよう、指で抑えながら取り出してください。

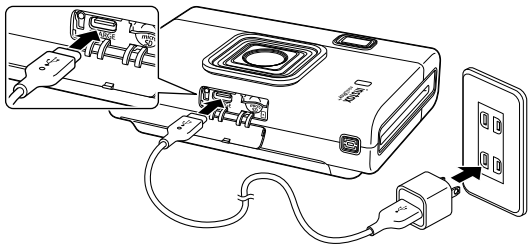


・メモリーカードを取り出すときは、メモリーカードを指で押し込み、ゆっくり指を戻してください。ロックが外れて、取り出すことができます。

注意
メモリーカードを取り出すときに、押し込んだ指を急に離すと、メモリーカードが飛び出すことがあります。指は静かに離してください。

カメラの準備

充電する



カメラと USB 電源アダプタを、付属の USB Type-C ケーブルで接続し、USB 電源アダプタを屋内のコンセントにつなぎます。

- 充電時間の目安は約 2 ～ 3 時間です。
- 本機の受入電力は最小 1.3W ～最大 2.5W です。仕様に合った充電器をご利用ください。

充電状態の表示について

充電中	セルフタイマーランプが点灯します。 電源 ON の状態では充電はされますが、ランプは点灯しません。LCD に充電アイコンが表示されます。
充電完了	セルフタイマーランプが消灯します。
充電エラー	セルフタイマーランプが点滅します。

PC から充電するときは：

- USB ハブやキーボードを経由せずに、直接カメラと PC を接続してください。
- 充電中に PC が休止状態（スリープ状態）になると、充電が中止されます。充電を続ける場合は、PC の休止状態（スリープ状態）を解除した後、USB Type-C ケーブルを接続し直してください。
- PC の仕様や設定、または状態によって、バッテリーを充電できないことがあります。

注意

- お買い上げ直後は、充電が必要な状態です。使用前にフル充電をしてからご使用ください。
- バッテリーについてのご注意は「取扱上のお願い」（p.42）を参照してください。

フィルムカートリッジを入れる

注意

フィルムを使い切るまでは、フィルムドアを開けないでください。途中で開けると、フィルムが感光して白くなり、写真が写りません。

- フィルムカートリッジを入れるときは、フィルムカートリッジ背面の２カ所の長方形の穴は絶対に押さないでください。
- 有効期限を過ぎたフィルムは絶対に使用しないでください（故障の原因となります）。

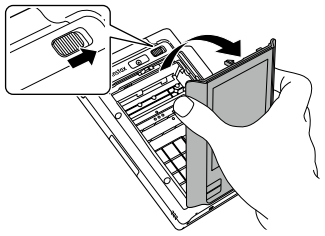
富士フイルム インスタントフィルム instax™ miniをご使用ください。instax™ SQUAREフィルムやinstax™ WIDEフィルムはご使用になれませんので、ご注意ください。

フィルムカートリッジについて

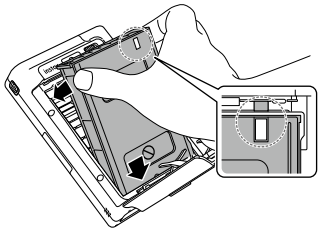
- フィルムカートリッジには黒いフィルムカバー 1 枚と 10 枚のフィルムが収納されています。
- フィルムカートリッジはカメラに入れる直前に内装袋から取り出してください。
- フィルムドアを閉めると、フィルムカバーが自動的に排出されます。

詳細は、富士フイルム インスタントフィルム instax™ mini の取扱説明を参照してください。

1 フィルムドアロックをスライドさせたまま、フィルムドアを持ち上げる



2 フィルムカートリッジの黄色のマークとカメラ内部の黄色のマークを合わせ、フィルムパックを入れる

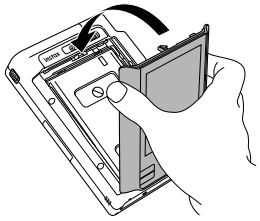


注意

- カメラのマークとフィルムカートリッジのマークを合わせてください。

3 **フィルムドアを閉じる**

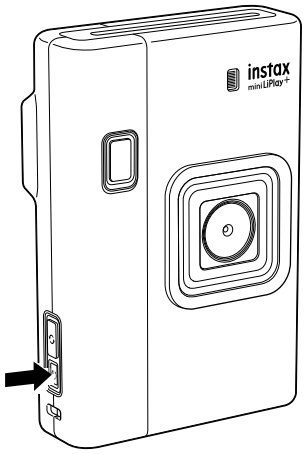
フィルムドアのロックがかかるまで押し込んでください。



4 **自動的に排出される黒いフィルムカバーを取り除く**

電源を入れる／切る

⏻(電源)ボタンを約1秒間長押しして、電源をオンまたはオフにします。



ご注意

一定時間操作を行わなかった場合、カメラの電源が自動的に切れます。

バッテリー残量の確認方法

［ステータス表示］が［ON］に設定されていると、液晶モニターの右下にバッテリー残量が表示されます。

表示	バッテリーの残量
	残量が十分にあります。
	残量が半分以下です。充電することをお勧めします。
	残量が不足しています。できるだけ早く充電してください。

- バッテリー残量が不足すると、[ステータス表示] を [OFF] に設定していても、液晶モニターの右下にアイコン（ ）が表示されます。
- バッテリー残量が完全になくなると、液晶モニター全体にアイコン（ ）が表示され、電源が切れます。

- 一定時間操作を行わなかった場合、カメラの電源が自動的に切れます。電源が切れるまでの時間を設定することもできます。詳しくは「[自動電源 OFF]」(p.36) を参照してください。

初期設定を行う

ご購入後初めて電源を入れると、使用する言語や日時を設定する画面が自動で表示されます。

この設定はあとで行うこともできます。あとで設定する場合や設定をやり直したい場合は、カメラ設定メニューの［言語 / LANG.］や［日時設定］を設定してください。

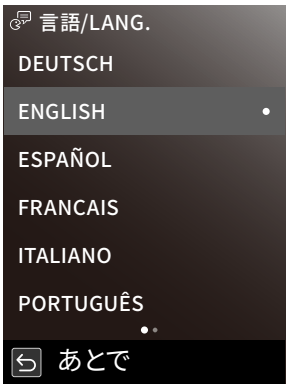
1 電源を入れる

・ご購入後に初めて電源を入れたときは、言語設定画面が表示されます。

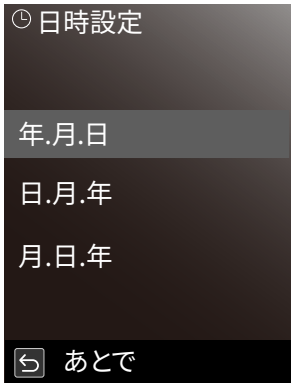
2 ▲または▼を押して使用する言語を選び、MENU/OK ボタンを押す

・初期設定では [日本語] が選択されています。

・▲▼◀▶を繰り返し押すと、次のページに移動します。

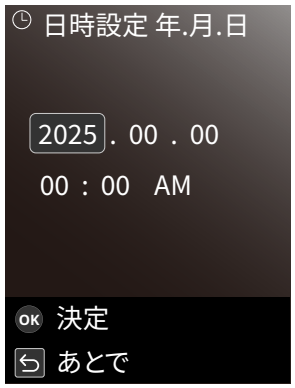


3 ▲または▼を押して年月日の並び順を設定し、MENU/OK ボタンを押す



4 年、月、日、時、分を設定し、MENU/OK ボタンを押す

・◀または▶を押して設定する項目（年、月、日、時、分）を選び、▲または▼を押して数字を選びます。



5 MENU/OK ボタンを押す

言語と日時の設定が完了します。

ペアリング設定

スマートフォンアプリ「instax mini LiPlay™」と連携するとさまざまな機能が利用できます。アプリと連携するために、スマートフォンとペアリングを行ってください。
詳しくは、「スマートフォンアプリを設定する」（p.38）を参照してください。

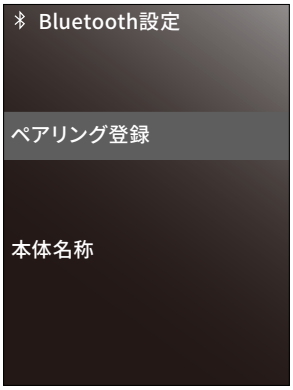
1 **撮影画面または再生画面 *1 で、MENU/OK ボタンを押す**

メニュー画面が表示されます。

*1 再生画面で、画像を 1 コマ表示してください。

2 **▲または▼を押して［Bluetooth 設定］を選び、MENU/OK ボタンを押す**

[Bluetooth設定]画面が表示されます。



3 **▲または▼を押して［ペアリング登録］を選び、MENU/OK ボタンを押す**

[ペアリング登録]画面が表示されます。

4 **スマートフォンアプリ「instax mini LiPlay™」を起動して［カメラに接続する］を押す**

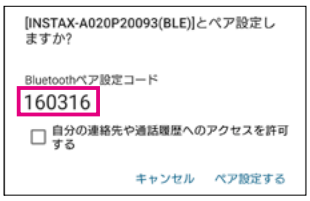
5 **表示された画面で、カメラの本体名称を確認して、スマートフォンアプリの [接続] を押す**

・カメラの本体名称は［Bluetooth 設定］で確認できます。撮影メニュー（34 ページ）または再生メニュー（35 ページ）で、［Bluetooth 設定］、［本体名称］の順に選んでください。

6 カメラとスマートフォンの画面を確認する

- カメラ：画面に 6 桁の認証コードが表示されます。
- スマートフォン：Android はペア設定リクエストが通知されます。iOS では、ペア設定コードが表示されます。

カメラ LCD 画面

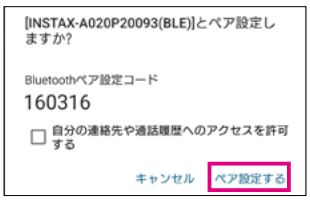


スマートフォン画面

7 カメラとスマートフォンに表示されている 6 桁の数字が一致していることを確認して、ペアリングを許可する

- カメラ：▲または▼を押して［OK］を選び、MENU/OK ボタンを押す。
- スマートフォン：［ペア設定をする］を選択します。

カメラ LCD 画面



スマートフォン画面

スマートフォンの機種によっては、異なる画面が表示される場合があります。

8 ペアリング登録が完了したことを確認する

ペアリング登録が完了しました。

撮影について

基本的な撮影

撮影する

基本的な撮影手順を説明します。

1 電源を入れる

- セレクトボタン / コマンドダイヤル操作ガイドが表示されます。表示を終了するときは、MENU/OK ボタンや ⮌（戻る）ボタンを押してください。
- 通常撮影モード画面が表示されない場合、表示されるまで♪（撮影モード切替）ボタンを押してください。

2 カメラを構える

3 必要に応じてフレーム、フィルター、フラッシュや露出補正などを設定する

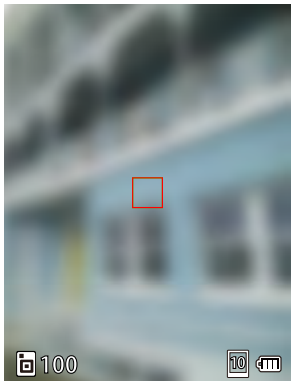
4 構図を決める

5 シャッターボタンを半押しして、被写体にピントを合わせる

ピントが合ったとき

ピピッと音が鳴り緑色のAFフレームが液晶モニターに表示されます。
ピントが合わないときは、再度シャッターボタンを半押して、ピントを合わせてください

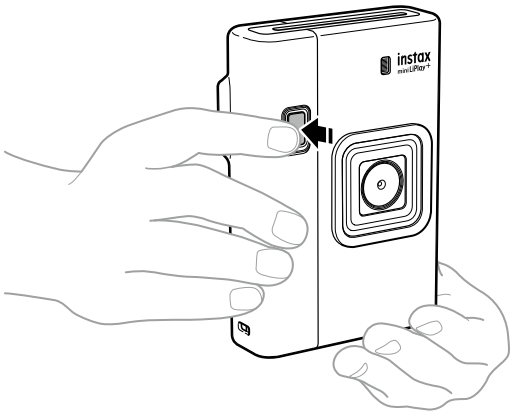
ピントが合わないとき



赤色のAFフレームが液晶モニターに表示されます。構図を変えるか、AF/AEロックを使用してください（17ページ）。

6 シャッターボタンを半押ししたまま、さらに深く押し込む（全押しする）

写真が撮影され、画像が内蔵メモリー、またはメモリーカードに保存されます。



・撮影した画像を出力する手順は、「出力する」(p.32)を参照してください。

- 撮影するときは脇を締め、カメラを両手でしっかりと持ってください。
- シャッターボタンを押すときは、カメラレンズに触れないように注意してください。
- シャッターボタンを全押しするときは、カメラが動いて手ブレが起きないように、静かに押し込んでください。
- 指やストラップがフラッシュ、レンズに掛からないように注意してください。
- 暗い場所または逆光時は、シャッターボタンを全押ししたときにフラッシュが発光することがあります。フラッシュが発光しないように、フラッシュの設定を変更できます。詳しくは、「フラッシュを使用して撮影する」(p.17)を参照してください。

内蔵メモリーについての注意

- 内蔵メモリーがいっぱいになると、シャッターが切れず、撮影ができません。画像を削除するか、メモリーカードを使用してください。
- 内蔵メモリー内の画像は、カメラ本体の故障などによりデータが壊れたり、消失したりすることがあります。
- 大切な画像は、別途バックアップ保存されることをお勧めします。
- カメラを修理にお出しになった場合、内蔵メモリー内のデータについては保証できません。
- カメラ修理の際、内蔵メモリー内のデータを確認させていただく場合があります。

セルフタイマーを使用して撮影する

撮影者を含めた集合写真や、シャッターボタンを押すときにカメラが動くのを防ぐために使用します。

1 撮影画面で、◀を押す

以下のガイドが表示されます。

2 ▲または▼を押して［2 秒］、または［10 秒］を選ぶ

- セルフタイマーを設定しない場合は［タイマー OFF］を選びます。

3 MENU/OK ボタンを押す

設定したセルフタイマーに応じたアイコンが画面右上に表示されます。

2 秒セルフタイマー

10 秒セルフタイマー

・↩（戻る）ボタンを押すと、設定を反映せずに元の画面に戻ります。

4 シャッターボタンを全押しする

カウントダウンが始まります。

[2秒]を選んだ場合:

シャッターボタンを押すと、セルフタイマーランプが点滅します。

[10秒]を選んだ場合:

シャッターボタンを押すと、セルフタイマーランプが点灯し、撮影の3秒前から点滅します。

セルフタイマーを途中でキャンセルするには、↩（戻る）ボタンを押します。

撮影について

フラッシュを使用して撮影する

夜間や暗い室内などで撮影するときは、フラッシュを使用して撮影してください。フラッシュが発光しないように設定することもできます。

1 撮影画面で、▶を押す

以下のガイドが表示されます。

2 ▲または▼を押してフラッシュの設定を選ぶ

- フラッシュの設定の詳細は「フラッシュの種類」を参照してください。

3 MENU/OK ボタンを押す

4 シャッターボタンを全押しする

■フラッシュの種類

オートフラッシュ

周囲が暗い場合は、自動でフラッシュが発光します。ほとんどの状況に適した設定です。

強制発光

周囲の明るさに関わらず、フラッシュが発光します。逆光で被写体が暗くなっているときに使用します。

発光禁止

周囲が暗いときでも、フラッシュを発光しません。フラッシュ撮影が禁止されている場所などでの撮影に適しています。

暗いときにはカメラをテーブルなどに固定して撮影することをお勧めします。

AF/AE ロックを使用して撮影する

撮影するときに、シャッターボタンを半押しし続けてピントを固定することを「AFロック」、明るさを決めて固定することを「AEロック」といいます。被写体を画面の中央以外に配置して撮影したいときに便利です。

AF/AE ロックは、セルフィーカメラでは使用できません。

1 シャッターボタンを半押しして、被写体にピントを合わせる

シャッターボタンを半押しすると、AFとAEがロックされます。

2 シャッターボタンを半押ししたまま構図を変える

3 シャッターボタンを全押しして、撮影する

以下の被写体を撮影するときは、ピントが合いにくくなることがありますので、AE/AF ロックを使用して撮影することをお勧めします。

- 鏡や車のボディなど光沢のある被写体
- 高速で移動する被写体
- ガラス越しの被写体
- 髪の毛や毛皮などの暗い色で、光を反射せずに吸収する被写体
- 煙や炎などの実体のない被写体
- 背景との明暗差が少ない被写体（背景と同色の服を着ている人物など）
- AF フレーム内にコントラスト差が大きいものがあり、その前後に被写体がある場合（コントラストの強い背景の前の被写体など）

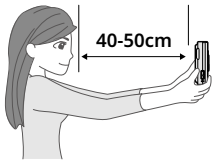
撮影について

自分自身を撮影する（セルフィー）

レンズ切り替えボタンを押して、メインカメラとセルフィーカメラを切り替えると、カメラを持ち変えずに自分自身を撮影することができます。

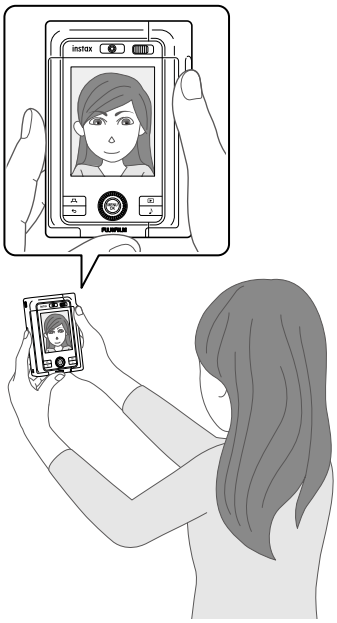
1 しっかりとカメラを持って、レンズの先から40cm ～ 50cm になるように構える

・暗い所では特に手ブレしやすいので、カメラをしっかりと持ってください。



2 必要に応じてフレームやフィルターの設定をする

3 構図を決める



4 シャッターボタンを押して撮影する

撮影メニューの項目

基本的な撮影などに関する各種設定は、撮影メニューで変更できます。

［AF 補助光］

ON を選ぶと、シャッターボタンを半押ししてからピントが合うまでの間 AF 補助光が発光し、暗い被写体のピントを合わせやすくします。

・シーンによっては、AF 補助光を発光してもピントが合いづらいことがあります。
・被写体に近づいた撮影では、AF 補助光の効果が十分に得られない場合があります。
・人の目に近づけて発光させないでください。

・AF/AE ロックは、セルフィーカメラでは使用できません。

［露出補正］

画像の明るさを調整します。被写体が明るすぎたり、暗すぎたり、被写体と背景のコントラスト（明暗の差）が大きい場合に使用します。

・設定した露出補正値は、PC などに画像データを移動した後も保持されます。

［録音設定］

［撮影直後に録音］か［撮影前後に録音］に切り替えます。［通常撮影モード］、［Layered Photo Mode］モードのときは、選択できません。

［ステータス表示］/［撮影モードのガイド表示］/［Bluetooth 設定］/［カメラ設定］については「撮影メニューの項目」（p.34）を参照してください。

撮影について

いろいろな撮影

本機は録音した音声を画像に記録することができます。

instax Sound Print™

シャッターボタンを押して自動で音声も録音することができます。QR コードにして撮影画像と一緒に出力できます。音付き画像のダウンロード期間はプリント日から 2 年です。
撮影前後の音声を記録する［撮影前後に録音］、または撮影直後の音声を記録する［撮影直後に録音］のどちらかを選べます。

録音設定は、撮影メニューの［録音設定］で変更できます。撮影画面で MENU/OK ボタンを押して、［録音設定］を選んで変更してください。

1 撮影画面で♪（撮影モード切替）ボタンを押す

- ［撮影モードのガイド表示］が［ON］のときは、instax Sound Print™ の説明画面が表示されます。

［撮影前後に録音］

［撮影直後に録音］

2 instax Sound Print™ モードが開始され、画面上部に録音アイコンが表示されます。

- セレクトボタン / コマンドダイヤル操作ガイドが表示されます。表示を終了するときは、MENU/OK ボタンや ⮌（戻る）ボタンを押してください。

［撮影前後に録音］

［撮影直後に録音］

3 必要に応じてフレームやフィルターの設定をする

4 シャッターボタンを半押しして、被写体にピントを合わせる

5 シャッターボタンを半押ししたまま、さらに深く押し込む（全押しする）

■ **［撮影前後に録音］に設定しているとき**
撮影とともにシャッターボタンを全押しする前の1.5秒と、あとの1.5秒の音が録音されます。
- instax Sound Print™ モードを終了するには、♪（撮影モード切替）ボタンを押してください。

■ **［撮影直後に録音］に設定しているとき**
撮影後、録音が開始されます。
- 録音時間は約 3 秒です。約 3 秒を超えると自動的に録音を終え、画面が切り替わります。
- instax Sound Print™ モードを終了するには、♪（撮影モード切替）ボタンを押してください。

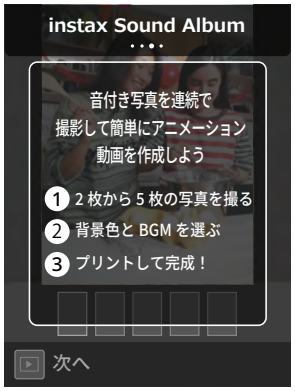
instax Sound Album™

音声付き画像を最大5 枚まで撮影し、アニメーション動画を作成できます。背景色と音楽、プリントする写真一枚を選択してください。QR コードにして撮影画像と一緒に出力できます。カメラギャラリーから撮影済み画像を選んでアニメーション動画を作成することもできます。その際は画像を最大 10 枚まで選ぶことができます。音付き画像のダウンロード期間はプリント日から 2 年です。
撮影前後の音声を記録する［撮影前後に録音］、または撮影直後の音声を記録する［撮影直後に録音］のどちらかを選べます。

録音設定は、撮影メニューの［録音設定］で変更できます。撮影画面で MENU/OK ボタンを押して、［録音設定］を選んで変更してください。

1 撮影画面で ♪（撮影モード切替）ボタンを 2 回押す

- ［撮影モードのガイド表示］が［ON］のときは、instax Sound Album™ の説明画面が表示されます。



2 **instax Sound Album™ モードが開始され、画面上部に録音アイコンが表示されます。**

・セレクトボタン / コマンドダイヤル操作ガイドが表示されます。表示を終了するときは、MENU/OK ボタンや ⮌（戻る）ボタンを押してください。

［撮影前後に録音］

［撮影直後に録音］

3 **必要に応じてフレームやフィルターの設定をする**

4 **シャッターボタンを半押しして、被写体にピントを合わせる**

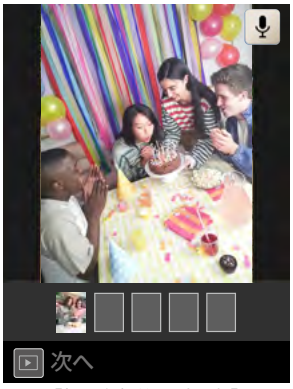
5 **シャッターボタンを半押ししたまま、さらに深く押し込む（全押しする）**

■ **［撮影前後に録音］に設定しているとき**
撮影とともにシャッターボタンを全押しする前の1.5秒と、あとの1.5秒の音が録音されます。

■ **［撮影直後に録音］に設定しているとき**
撮影後、録音が開始されます。録音時間は約3秒です。約3秒を超えると自動的に録音を終え、画面が切り替わります。

6 **同様に、２枚目以降を撮影する**

［撮影前後に録音］



［撮影直後に録音］

・最大５枚まで撮影できます。

・撮影をやり直したいときは、⮌（戻る）ボタンを押してください。🔼または🔽を押して［撮りなおす］を選び、MENU/OK ボタンを押します。
・２枚以上撮影して▶（再生）ボタンを押してください。背景色選択画面が表示されます。
・５枚よりも少ない枚数で終了するときは、▶（再生）ボタンを押してください。
・撮影を中断するときは、♪（撮影モード切替）ボタンを押してください。”この撮影を終了しますか？撮影したデータは残ります。”とメッセージが表示されます。終了する場合は［終了］を、しない場合は［戻る］を選んでください。

7 **撮影が終わったら、アニメーション動画を作成する**

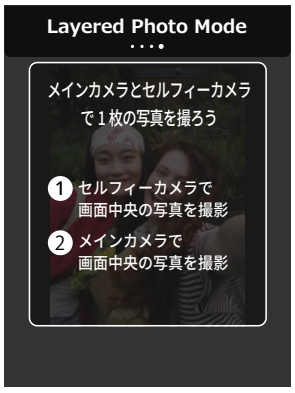
5枚の撮影が終了する、または撮影を終了したいときに▶(再生)ボタンを押すと、アニメーション動画の作成画面が表示されます。
アニメーション動画の作成については、「撮影済み画像からinstax Sound Album™を作成する」(p.28)の手順8以降を参照してください。

Layered Photo Mode

メインカメラとセルフィーカメラで撮影した画像を 1 枚のプリントに表現するユニークな撮影方法です。最初にセルフィーカメラで画面中央の写真を、次にメインカメラで画面外側の写真を撮影し、一枚のプリントにプリントできます。

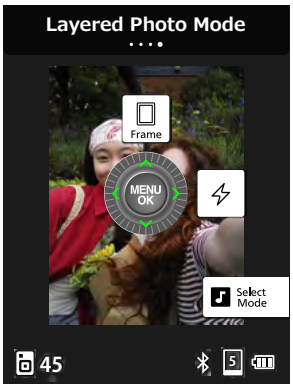
1 **撮影画面で、「Layered Photo Mode」画面が表示されるまで ♪（撮影モード切替）ボタンを押す**

・［撮影モードのガイド表示］が［ON］のときは、Layered Photo Mode の説明画面が表示されます。



2 Layered Photo Mode が開始され、画面にセルフィーカメラの画像が表示されます。

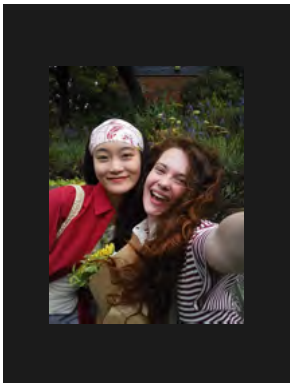
- セレクトボタン / コマンドダイヤル操作ガイドが表示されます。表示を終了するときは、MENU/OK ボタンや ⮌（戻る）ボタンを押してください。



3 ⮝を押してレイアウトを設定する

- ⮜または⮞を押してレイアウトを選び、MENU/OK ボタンを押します。
- フレームやフィルターは設定できません。

4 シャッターボタンを全押しして撮影する



- AE/AF ロックは使用できません。
- 撮影をやり直したいときは、⮌（戻る）ボタンを押してください。

5 撮影が終わると、メインカメラの画像が表示されます。

- 画面中央に、セルフィーカメラで撮影した画像が表示されます。
- この画面でも、レイアウトの変更ができます。⮝を押すとガイドが表示されるので、⮜または⮞を押して選んでください。

6 必要に応じてフラッシュの設定をする

- フレームやフィルターは設定できません。

7 シャッターボタンを半押しして、被写体にピントを合わせる

8 シャッターボタンを半押ししたまま、さらに深く押し込む（全押しする）

- 撮影を中断するときは、♪（撮影モード切替）ボタンを押してください。”この撮影を終了しますか？撮影中データは破棄されます”とメッセージが表示されます。終了する場合は［終了］、しない場合は［戻る］を選んでください。

撮影について

フレームを選ぶ

以下の手順でフレームの種類を選びます。

1 撮影画面または再生画面で▲を押す

以下のガイドが表示されます。

2 ◀または▶を押して、フレームの種類を選ぶ

3 MENU/OK ボタンを押す

フレームが反映され、元の画面に戻ります。

- ↩（戻る）ボタンを押すと、フレームを反映せずに元の画面に戻ります。
- 設定したフレームを解除するにはフレームの種類から”フレームなし”を選びます。

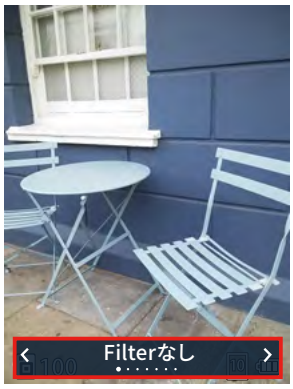
- アプリを使ってフレームを入れ替えることもできます。画面右上の「≡」をタップ⇒［フレーム設定］をタップ⇒［カメラに登録するフレームを選ぶ］⇒フレームを入れ替え⇒［カメラと同期］をタップ⇒カメラで確認します。

フィルターを選ぶ

以下の手順でフィルターの種類を選びます。

1 撮影画面で▼を押す

以下のガイドが表示されます。



2 ◀または▶を押して、フィルターの種類を選ぶ

3 MENU/OK ボタンを押す

フィルターが反映され、元の画面に戻ります。

- ↩（戻る）ボタンを押すと、フィルターを反映せずに元の画面に戻ります。
- 設定したフィルターを解除するにはフィルターの種類から”フィルターなし”を選びます。

再生について

撮影した画像を再生する

撮影した画像を液晶モニターで再生できます。

1 **電源を入れる**

2 **（再生）ボタンを押す**

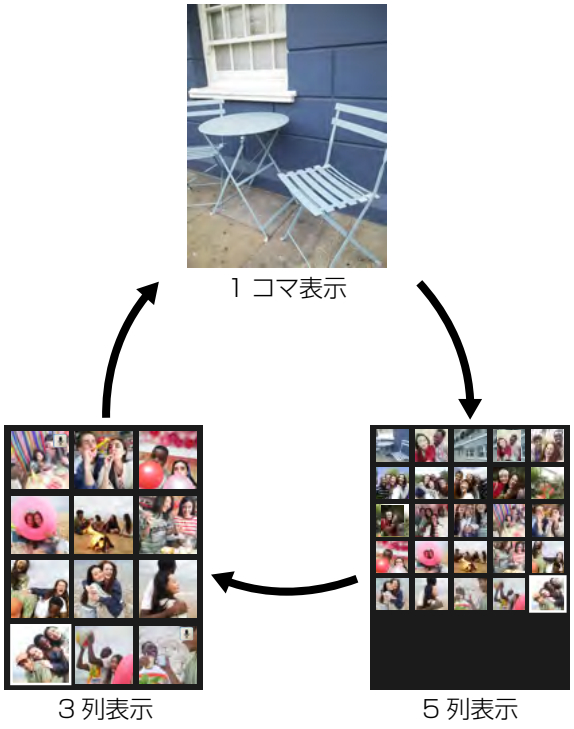
3 **または を押して、表示したい画像を選ぶ**

4 **MENU/OK ボタンを押す**

シャッターボタンを全押しすると、撮影画面に戻ります。

■表示する画像のコマ数を変更する

再生画面を表示中に（再生）ボタンを押すと、表示する画像のコマ数を変更することができます。



再生画面の表示を変更する

画像を拡大して表示したり、液晶モニターに表示する画像のコマ数を変更したりすることができます。

■画像を拡大して表示する

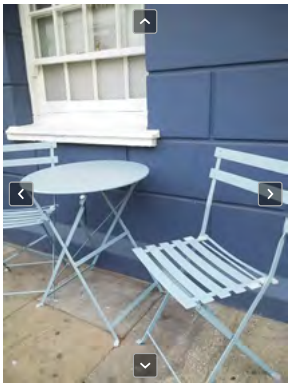
1 **再生画面で拡大したい画像を選び、MENU/OK ボタンを押す**

再生メニューが表示されます。

2 **または を押して［ズーム］を選び、MENU/OK ボタンを押す**

ズーム画面が表示されます。

3 **画像を拡大、縮小する**



・コマンドダイヤルを時計回りにまわすと画像が拡大し、反時計回りにまわすと画像が縮小します。
・▲▼◀▶を押すと、表示位置を変更できます。
・ズーム画面を表示中に ⮌（戻る）ボタンを押すと、再生メニュー画面に戻ります。
・画像を拡大、または縮小した状態で 🖶（プリント）ボタンを押すと、出力することができます。

画像を削除する

不要な画像を削除することができます。まとめて複数の画像を削除することもできます。

1 コマ削除するとき

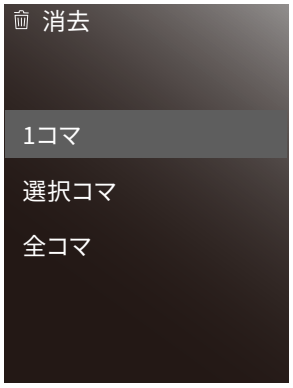
1 ▶（再生）ボタンを押す

2 ◀または▶を押して削除したい画像を選ぶ

3 MENU/OK ボタンを押す
・再生メニューが表示されます。

4 ▲または▼を押して［消去］を選び、MENU/OK ボタンを押す

5 ▲または▼を押して［1 コマ］を選び、MENU/OK ボタンを押す



6 ▲または▼を押して［消去］を選び、MENU/OK ボタンを押す
選択した画像が削除されます。

複数コマ削除のとき

1 ▶（再生）ボタンを押す

2 ◀または▶を押して削除したい画像を選ぶ
削除したい画像を 1 つ選んでください。

3 MENU/OK ボタンを押す
・再生メニューが表示されます。

4 ▲または▼を押して、［消去］を選び、MENU/OK ボタンを押す

再生について

5 **▲または▼を押して［複数コマ］を選び、MENU/OK ボタンを押す**

6 **▲▼◀▶を押して削除したい画像を選ぶ**

7 **MENU/OK ボタンを押す**

- 画像の選択が確定して、左上に「✓」がつきます。削除するすべての画像を選んでください。
- 選択を解除するときは、もう一度 MENU/OK ボタンを押してください。

8 **▶（再生）ボタンを押す**

- ▶（再生）ボタンを押すと画像が削除されます。
- 画像が選択されていないと▶（再生）ボタンは使用できません。

9 **MENU/OK ボタンを押す**

選択した画像が削除されます。

全コマ削除のとき

1 **▶（再生）ボタンを押す**

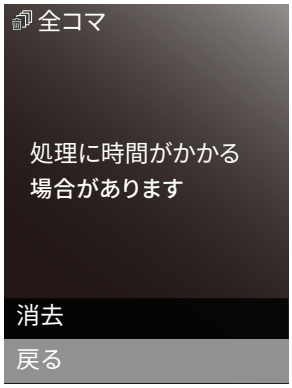
2 **MENU/OK ボタンを押す**

- 再生メニューが表示されます。

3 **▲または▼を押して、［消去］を選び、MENU/OK ボタンを押す**

4 **▲または▼を押して［全コマ］を選び、MENU/OKボタンを押す**

5 **▲または▼を押して［消去］を選び、MENU/OKボタンを押す**

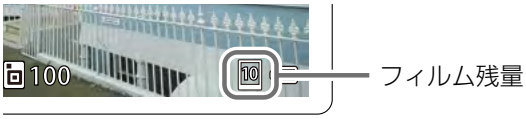


6 **MENU/OK ボタンを押す**

画像が削除されます。

フィルム残量表示について

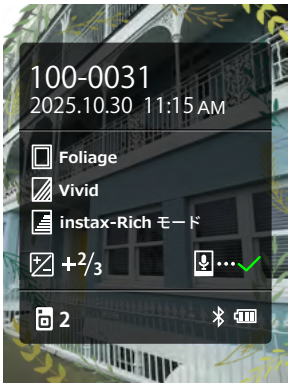
フィルム残量は画面下部に表示されます。



- フィルムの取り扱いについては、富士フイルム インスタントフィルム“instax™ mini”の取扱説明を参照してください。
- フィルムの現像時間は約 90 秒です（気温によって時間は変動します）。

撮影情報を見る

1コマ再生画面を表示中にMENU/OKボタンを押して、［撮影情報］を選択すると、液晶モニターに以下のような情報画面が表示されます。元の画面に戻るときは、↩（戻る）ボタンを押してください。



再生について

再生メニューの項目

画像の再生などに関する各種設定は、再生メニューで変更できます。

［ズーム］

「画像を拡大して表示する」（p.23）を参照してください。

［録音実行］

画像に音声を記録します。すでに音声が記録されている画像の場合は音声を上書きします。詳しくは、「再生時に音声を記録する」（p.28）を参照してください。

ご注意

以下のデータついては、音声を記録することができません。

- Layered Photo Mode で撮影した画像
- instax Sound Album™ のデータ

［音のみ消去］

音付き画像の音のみを消去します。

- 音声が記録されていない画像を選んでいるときは、選択できません。

［プリント履歴］

- 過去に出力した画像を最大 50 枚まで表示します。
- 画像を選び（プリント）ボタンを押すと確認画面が表示されます。❮または❯を押してプリント枚数決めて、（プリント）ボタンを押します。
- ❯を押して表示されたメニューでプリント履歴を消去できます。詳しくは、「［プリント履歴］」（p.35）を参照してください。

［消去］

画像を消去します。

［1 コマ］、［複数コマ］、［全コマ］から選びます。

［画像回転］

画像を 90 度単位で回転して表示します。

［画像コピー］

画像を内蔵メモリーからメモリーカードへ、またはメモリーカードから内蔵メモリーにコピーします。詳しくは、「［画像コピー］」（p.35）を参照してください。

［撮影情報］/［instax Sound Album］/［自動画像転送設定］/［画像転送］/［Bluetooth 設定］/［カメラ設定］については「再生メニューの項目」（p.35）を参照してください。

再生について

いろいろな再生

再生時に音声を記録する

1 ▷（再生）ボタンを押す

2 ❮または❯を押して画像を選ぶ

> **注意**
> 以下のデータついては、音声を記録することができません。
> • Layered Photo Mode で撮影した画像
> • instax Sound Album™ のデータ

3 MENU/OK ボタンを押す
- 再生メニューが表示されます。

4 ❮または❯を押して［録音実行］を選び、MENU/OK ボタンを押す
- 再生画面で ♪（撮影モード切替）ボタンを押して録音することもできます。
- すでに音声が記録されている画像の場合は、”現在設定されている音声が上書きされます”とメッセージが表示されます。上書きする場合は［OK］、しない場合は［戻る］を選んでください。

5 ❮または❯を押して［録音開始］を選び、MENU/OK ボタンを押す

録音が開始され、画面中央に録音中アイコンが表示されます。
- 録音時間は最長約 10 秒です。約 10 秒を超えると自動的に録音を終えます。
- 途中で録音を終了したいときは、［停止］を選んで MENU/OK ボタンを押すと、その時点で録音を終了できます。

6 表示された画面で❮または❯を押して［再生］を選び、MENU/OK ボタンを押す

音声が再生されます。

- 再生中の音声を一時停止するには、［一時停止］を選んで MENU/OK ボタンを押してください。
- 再生中に［音量設定］を選んで MENU/OK ボタンを押すと、［再生音量］画面が表示されます。❮または❯を押すと音量の調整ができます。

7 ❮または❯を押して［保存］を選び、MENU/OK ボタンを押す

撮影済み画像から instax Sound Album™ を作成する

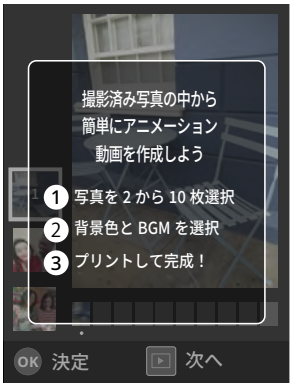
1 ▷（再生）ボタンを押す

2 ❮または❯を押して画像を選ぶ

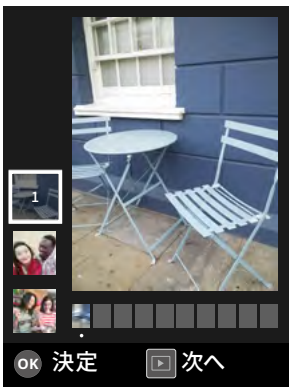
3 MENU/OK ボタンを押す
- 再生メニューが表示されます。

4 ❮または❯を押して［instax Sound Album］を選び、MENU/OK ボタンを押す

• ［撮影モードのガイド表示］が［ON］のときは、instax Sound Album™ の説明画面が表示されます。

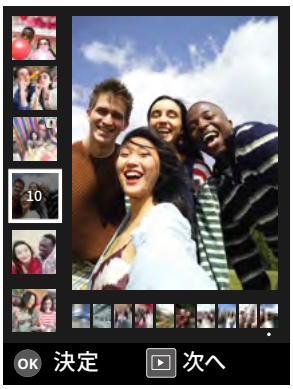


5 ▲または▼を押して画像を選び、MENU/OK ボタンを押す



選択した画像が登録されます。

6 同様に、2枚目以降を選択する



• 最大 10 枚まで選択できます。
• 選択をやり直したいときは、MENU/OK ボタン、または ⮌（戻る）ボタンを押してください。
• 2 枚以上撮影して▶（再生）ボタンを押してください。背景色選択画面が表示されます。
• 10 枚よりも少ない枚数で終了するときは、▶（再生）ボタンを押してください。

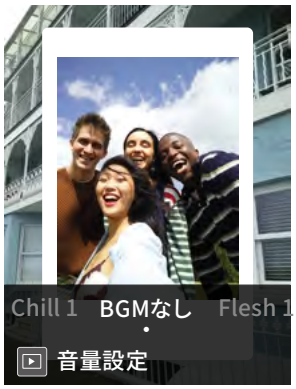
7 画像選択が終わったら、▶（再生）ボタンを押す

背景色選択画面が表示されます。

8 ◀または▶を押して背景色を選び、MENU/OK ボタンを押す

• 選択した画像の中から、背景画像を選ぶことができます。▶（再生）ボタンを押して再生画面で画像を選び、MENU/OK ボタンを押します。確認画面が表示されるので、MENU/OK ボタンを押してください。

9 ◀または▶を押して BGM を選び、MENU/OK ボタンを押す



• BGM は［Fresh1］/［Pop1］/［Chill1］/［Lo-Fi1］/［Upbeat1］/［BGM なし］から選べます。
• ▶（再生）ボタンを押すと再生音量調整画面が表示されます。◀または▶を押して音量の調整ができます。
• カメラに設定されている BGM はアプリで入れ替えることができます。

10 ❮または❯を押してアニメーションを選び、MENU/OK ボタンを押す

・アニメーションは、3 種類から選べます。

11 プレビュー再生を確認する

・❮または❯を押して［プレビュー］を選んで MENU/OK ボタンを押すとプレビュー再生が始まるので、内容を確認してください。再生中に↩（戻る）ボタンを押すと、元の画面に戻ります。
・印刷する場合は、［プリント］を選んで MENU/OK ボタンを押してください。印刷については、「出力する」（p.32）を参照してください。
・❮または❯を押して［音量バランス］を選んで MENU/OK ボタンを押すと音量調整画面が表示されます。❮または❯を押して音量の調整ができます。

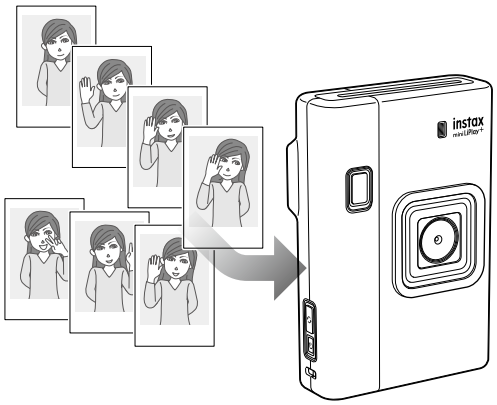
撮影データについて

撮影データの保存先

micro SD カードの挿入あり / なしでデータの保存先が変わります。

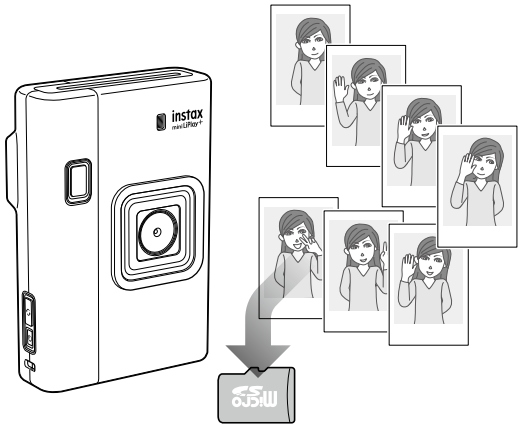
micro SD カードを挿入しない場合

micro SD カードを挿入しないで撮影した場合、撮影データはカメラの内蔵メモリーに保存されます。
内蔵メモリーの上限枚数に注意してください。



micro SD カードを挿入した場合

micro SD カード挿入時は、データは micro SD カードに保存され、カメラの内蔵メモリーには保存されません。



カメラの内蔵メモリーや micro SD カードに保存した画像は、自動で削除されません。画像がいっぱいになった場合は、画像を削除してください。

撮影・保存可能枚数

撮影可能枚数と保存可能枚数の目安は以下となります。

撮影可能枚数

	内蔵メモリー	micro SD カード挿入時
画像	2560×1920 ピクセル 約 45 枚	2560×1920 ピクセル 1GB あたり約 850 枚

出力について

出力する

撮影した画像は、以下の手順で出力できます。

1 電源を入れる

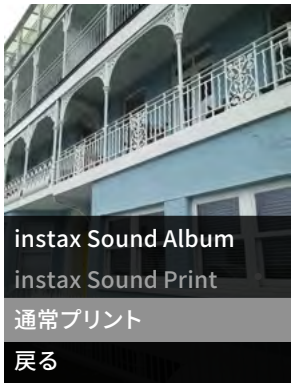
2 ▷（再生）ボタンを押す

3 ❮または❯を押して出力したい画像を選ぶ

4 必要に応じてフレームや、拡大などを設定する

5 ⎙（プリント）ボタンを押す

6 ❮または❯を押して、［通常プリント］または［instax Sound Print］を選ぶ



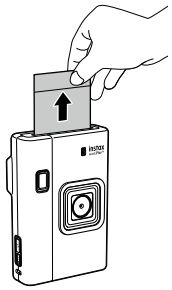
注意
- フレームを設定すると、別の画像として保存されます。
- 音声がない画像は［instax Sound Print］を選べません。
- 音付きプリントするにはスマートフォンアプリとの連携が必要です。

7 ❮または❯を押してプリント枚数を選び、⎙（プリント）ボタンを押す

出力が始まります。

- プリント枚数は、コマンドダイヤルでは変更できません。
- ［instax Sound Print］の場合は、必要に応じて❮❯、またはコマンドダイヤルで QR コードの出力位置を変更してください。
- 出力をキャンセルするには、［戻る］を選ぶ、または⮌（戻る）ボタンを押します。

8 フィルムを排出する音が止まってから、送り出されたフィルムの先端を持って取り出す



注意
指やストラップがフィルム排出口に掛からないように注意してください。

出力について

プリント履歴から出力する

過去に出力した画像を呼び出して、そのときの設定（画像エフェクトなど）を保持して出力することができます。
撮影した画像は、以下の手順で出力できます。

注意
QR コードは出力されません。

1 再生画面で、MENU/OK ボタンを押す
再生メニューが表示されます。

2 ▲または▼を押して［プリント履歴］を選び、MENU/OK ボタンを押す
過去に出力した画像が表示されます。

3 ▲または▼を押して出力したい画像を選び、MENU/OK ボタンを押す

・画面下にフレームとフィルターの設定が表示されます。

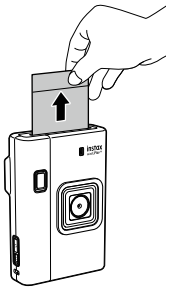
4 （プリント）ボタンを押す

5 ◀または▶を押してプリント枚数を選び、（プリント）ボタンを押す

出力が始まります。

・プリント枚数は、コマンドダイヤルでは変更できません。
・出力をキャンセルするには、（戻る）ボタンを押します。

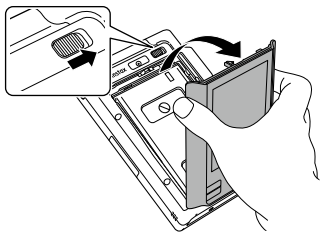
6 フィルムを排出する音が止まってから、送り出されたフィルムの先端を持って取り出す



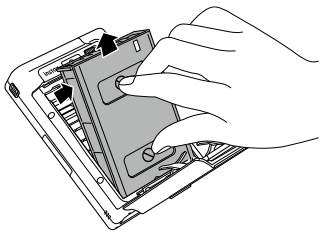
注意
指やストラップがフィルム排出口に掛からないように注意してください。

フィルムカートリッジを取り出す

1 フィルムドアロックをスライドさせたまま、フィルムドアを持ち上げる



2 フィルムカートリッジの穴をつまみ、フィルムカートリッジを引き出す



設定メニュー

撮影メニューを使用する

撮影メニューから撮影に関する各種設定の変更ができます。

1 **撮影画面で、MENU/OK ボタンを押す**

撮影メニューが表示されます。

2 **▲▼◀▶を押して項目を選び、MENU/OK ボタンを押す**

・各項目については「撮影メニューの項目」を参照してください。

3 **設定を変更する**

・▲▼◀▶を押すと、設定を変更できます。

4 **MENU/OK ボタンを押す**

設定が反映されます。

■撮影メニューの項目

［設定情報］

撮影の設定情報を表示します。

［AF 補助光］

［ON］を選ぶと、シャッターボタンを半押ししてからピントが合うまでの間 AF 補助光が発光し、暗い被写体のピントを合わせやすくします。

・シーンによっては、AF 補助光を発光してもピントが合いづらいことがあります。
・被写体に近づいた撮影では、AF 補助光の効果が十分に得られない場合があります。
・人の目に近づけて発光させないでください。

AF/AE ロックは、セルフィーカメラでは使用できません。

［露出補正］

画像の明るさを調整します。被写体が明るすぎたり、暗すぎたり、被写体と背景のコントラスト（明暗の差）が大きい場合に使用します。

・設定した露出補正値は、PC などに画像データを移動した後も保持されます。

［録音設定］

［撮影直後に録音］か［撮影前後に録音］に切り替えます。［通常撮影モード］、［Layered Photo Mode］モードのときは、選択できません。

［ステータス表示］

［ON］を選ぶと、撮影画面に、撮影可能枚数、フィルム残量、バッテリー残量が表示されます。

［撮影モードのガイド表示］

［ON］を選ぶと、♪（撮影モード切替）ボタンを押して撮影モードを変更したときの撮影モードの説明画面が表示されます。

［Bluetooth 設定］

ペアリング登録する前に、ご使用のスマートフォンにスマートフォンアプリをインストールしてください。

［ペアリング登録］：

お使いのスマートフォンと初めて Bluetooth で接続する場合は、機器同士をペアリングする必要があります。ペアリングについては、「ペアリング設定」（p.13）を参考にしてください。

［ペアリング削除］：

ペアリング登録されているスマートフォンの情報を削除できます。

［本体表示］：

本体の名称を表示します。

［カメラ設定］

カメラの以下の設定を変更できます。

［QR コード設定］/［プリント明るさ設定］/［プリント画質モード］/［日時設定］/［画像内日付表示］/［言語 /LANG.］/［音量設定］/［再生音量］/［自動電源 OFF］/［リセット］/［フォーマット］/［バージョンアップ］

詳しくは、「カメラ設定を使用する」（p.36）を参照してください。

再生メニューを使用する

再生メニューから再生に関する各種設定の変更ができます。

1 再生画面で、MENU/OK ボタンを押す

再生メニューが表示されます。

2 ▲▼◀▶を押して項目を選び、MENU/OK ボタンを押す

- 各項目については「再生メニューの項目」を参照してください。

3 設定を変更する

- ▲▼◀▶を押すと、設定を変更できます。

4 MENU/OK ボタンを押す

設定が反映され、ます。

■再生メニューの項目

［撮影情報］

撮影時に設定した情報が確認できます。

［instax Sound Album］

撮影済み画像から instax Sound Album™ を作成できます。詳しくは、「撮影済み画像から instax Sound Album™ を作成する」（p.28）を参照してください。

［ズーム］

「画像を拡大して表示する」（p.23）を参照してください。

［録音実行］

画像に音声を記録します。すでに音声が記録されている画像の場合は音声を上書きします。詳しくは、「再生時に音声を記録する」（p.28）を参照してください。

> **注意**
> 以下の画像には、音声を記録できません。
> - Layered Photo Mode で撮影した画像
> - instax Sound Album™ で作成した画像データ

［音のみ消去］

音付き画像の音のみを消去します。

- 音声が記録されていない画像を選んでいるときは、選択できません。

［プリント履歴］

- 過去に出力した画像を最大 50 枚まで表示します。
- 画像を選び（プリント）ボタンを押すと確認画面が表示されます。◀または▶を押してプリント枚数決めて、（プリント）ボタンを押します。
- ▼を押して表示されたメニューでプリント履歴を消去できます。

以下の手順で行います。

1. メニューから［消去］を選ぶ
2. ▲または▼で［1 コマ］、［複数コマ］、［全コマ］から選び、MENU/OK ボタンを押す
   - ［全コマ］を選んだ場合は確認画面が表示されます。［消去］を選んで MENU/OK ボタンを押すと消去されます。
   - ［1 コマ］、［選択］を選んだ場合は、手順 4 に進みます。
3. ▲▼◀▶を押して消去する画像を選び、MENU/OK ボタンを押す
4. 消去したい画像をすべて選んだら、（プリント）ボタンを押す

選択した画像が消去されます。

［プリント画像転送］

プリントした画像をアプリに転送します。

［自動画像転送設定］

［ON］を選ぶと、プリントした画像をアプリに自動で転送します。instax Sound Print™ や instax Sound Album™ は、データをサーバーへアップロードする必要があるため、［OFF］にしていてもデータは転送されます。

［消去］

画像を消去します。

［1 コマ］、［選択］、［全コマ］から選びます。

［画像回転］

画像を 90 度単位で回転して表示します。

［画像コピー］

画像を内蔵メモリーからメモリーカードへ、またはメモリーカードから内蔵メモリーにコピーします。

以下の手順で行います。

1. 再生メニューから［画像コピー］を選び、MENU/OK ボタンを押す。
2. ▲または▼を押してコピー先を選び、MENU/OK ボタンを押す
3. ［1 コマ］、［選択］、［全コマ］を選び、MENU/OK ボタンを押す

   ［選択］を選んだ場合は、◀または▶を押して、コピーする画像を選びます。
4. 表示された画面でコピー先を選び、MENU/OK ボタンを押します。

   コピーが開始されます。

［Bluetooth 設定］
Bluetooth の設定ができます。詳しくは、「［Bluetooth 設定］」（p.34）を参照してください。

［カメラ設定］
カメラの以下の設定を変更できます。
［QR コード設定］/［プリント明るさ設定］/［プリント画質モード］/［日時設定］/［画像内日付表示］/［言語 /LANG.］/［音量設定］/［再生音量］/［自動電源 OFF］/［リセット］/［フォーマット］/［バージョンアップ］
詳しくは、「カメラ設定を使用する」（p.36）を参照してください。

カメラ設定を使用する

以下の手順でカメラ設定を設定・変更します。

1 撮影画面、または再生画面で MENU/OK ボタンを を押す。

2 ▲または▼を押して［カメラ設定］を選び、MENU/OK ボタンを押す。

3 ▲または▼を押して項目を選び、MENU/OK ボタンを押す。
- 各項目については「カメラ設定の項目」を参照してください。

4 設定を変更する
- ◀▶▲▼を押すと、設定を変更できます。

5 MENU/OK ボタンを押す
設定が反映され、元の画面に戻ります。

■カメラ設定の項目

［QR コード設定］
instax Sound Print™ や instax Sound Album™ で出力される QR コードの出力位置や出力色、ロゴの表示 / 非表示を変更します。

> **注意**
> instax Sound Print™ や instax Sound Album™ を使用するには、スマートフォンアプリとの連携が必要です。

［QR コード位置変更］：
QR コードの出力位置を変更します。
［QR コード色］：
QR コードの出力色を変更します。
［QR コードのロゴ表示］：
QR コードのロゴの表示 / 非表示を変更します。

［プリント明るさ設定］
プリントの明るさを変更できます。
［x1.0（標準）］、［x1.5（やや明るい）］、［x2.0（明るい）］から選びます。

［プリント画質モード］
プリントの画質を変更できます。
［instax-Natural モード］、［instax-Rich モード］から選びます。

［日時設定］
日付と時刻を設定します。

［画像内日付表示］
画像に日付を書き込みます。画像に書き込まれた日付を消したい場合は、［OFF］を選びます。

［言語 /LANG.］
液晶モニターに表示する言語を設定します。

［音量設定］
操作音、シャッター音量、起動音の音量を設定します。
音を消したい場合は、［OFF］を選びます。

［再生音量］
録音した音声や instax Sound Album™ で作成した動画の再生音量を設定します。

［自動電源 OFF］
カメラを操作しなかったときに、自動で電源が切れるまでの時間を設定します。

［リセット］
設定値を工場出荷時の設定に戻します。
［日時設定］で設定した日付と時刻はリセットされません。

［フォーマット］
カメラ内蔵のメモリー、またはカードスロットに挿入されているメモリーカードを初期化します。保存されている画像はすべて削除されます。

［バージョンアップ］
ファームウェアのバージョンアップを行います。ファームウェアをバージョンアップする方法は以下の 2 通りがあります。

> **注意**
> ファームウェアのバージョンアップを行うときはメモリーカードが必要です。あらかじめメモリーカードをご用意ください。

ファームウェアのアップグレード

● スマートフォンアプリ「instax mini LiPlay™」から行う

1. メモリーカードをカメラのカードスロットに挿入する
2. スマートフォンアプリ「instax mini LiPlay™」を起動する
3. 画面右上の「≡」をタップする
4. ［カメラ設定］をタップする
5. ［本体のバージョンアップ確認］をタップする
6. 画面の指示に従って操作する

● カメラ本体から行う

1. PC などで富士フイルムのウェブサイトから最新のファームウェア（FPUPDATE.DAT）をダウンロードして、メモリーカードのルートディレクトリーにコピーする
2. ファームウェアをコピーしたメモリーカードをカメラのカードスロットに挿入する
3. 撮影メニュー、または再生メニューから［カメラ設定］を選び、［バージョンアップ］を選ぶ
4. 画面の指示に従って操作する

アプリについて

スマートフォンアプリ連携で使える機能

スマートフォンアプリ「instax mini LiPlay™」と連携すると以下機能が使用できます。

ギャラリー

カメラからプリントした画像やアニメーション動画をアプリで再生できます。また、データをスマートフォン端末にダウンロードしたり、カメラから再プリントすることも可能です。

注意
アプリで音付き画像やアニメーション動画を削除すると、QR コードを読み取っても再生ができなくなります。

ダイレクトプリント機能

スマートフォン内の画像をカメラ本体に送信して出力することができます。送信前に、アプリで画像の移動や回転、拡大縮小、フレームやステッカーの追加ができます。

リモートシューティング機能

スマートフォンを操作して、カメラ本体で撮影することができます。

instax Sound Print™ 作成

スマートフォン内の画像に音声メッセージを追加することができます。音声データをQRコード化してカメラからプリントします。プリントに印字されたQRコードをスマートフォンで読み込むことで音声を再生、ダウンロードすることができます。

注意
音付き画像のダウンロード期間はプリント日から２年です。

instax Sound Album™ 作成

スマートフォン内の画像を複数枚選び、背景色とBGMを選択し、アニメーション動画を作成することができます。プリントする画像を１枚決定し、QRコード化してカメラからプリントします。プリントに印字されたQRコードをスマートフォンで読み込むと動画を再生、ダウンロードすることができます。

注意
アニメーション動画のダウンロード期間はプリント日から２年です。

スマートフォンアプリを設定する

ご使用のスマートフォンに「instax mini LiPlay™」アプリをインストールしてください。

- Android OS のスマートフォンをご使用の場合は、Google Play から「instax mini LiPlay」を検索し、インストールしてください。
  ＊ Android OS のスマートフォンの動作環境：Android Ver 10 以上、かつ Google Play がインストールされている
- iOS のスマートフォンをご使用の場合は、App Store から「instax mini LiPlay」を検索し、インストールしてください。
  ＊ iOS のスマートフォンの動作環境：iOS Ver 15 以上

スマートフォンの機種によっては、スマートフォンアプリをインストールし、上記の動作環境を満たしている場合でも、使用できない場合があります。

iOS　　Android OS

QRコードは株式会社デンソーウェーブの登録商標です。

このようなときは

このようなときは

故障とお考えになる前に、以下の項目をお調べください。処置を行っても改善されない場合は、弊社サービスセンターに修理をご依頼ください。
または下記のウェブサイトにアクセスしてください。
富士フイルムホームページ：
https://www.fujifilm.com/jp/ja

使用中このようなときは…

このようなときは	考えられる原因と対処法
電源が入らない。	バッテリーが消耗している可能性があります。カメラを充電してください。
バッテリーの消耗が早い。	非常に寒い所でカメラを使用していると、バッテリーの消耗が早くなります。撮影前にカメラを温かくしておいてください。
使用中に電源が切れた。	バッテリー残量が少なくなっている可能性があります。カメラを充電してください。
充電が始まらない。	・USB 電源アダプタのプラグがコンセントに正しく接続されているか確認してください。 ・充電をするときは電源を切ってください。電源が入った状態では充電されません。
充電に時間が掛かりすぎる。	低温時は、充電に時間が掛かる場合があります。
充電中にセルフタイマーランプが点滅する。	周囲の温度が＋ 5 ℃～＋ 40 ℃の範囲で充電してください。この範囲でも充電できないときは、弊社サポートセンターにお問い合わせください。
シャッターボタンを押しても撮影できない。	・電源が入っているか確認してください。 ・バッテリー残量が少なくなっている場合は、充電してください。 ・内蔵メモリーまたはメモリーカードがいっぱいになっている場合は、新しいメモリーカードを入れるか、不要な画像を削除してください。 ・本機でフォーマットしたメモリーカードを使用してください。 ・メモリーカードの接触面（金色の部分）が汚れている場合は乾いた柔らかい布でふいてください。 ・メモリーカードが壊れている可能性があります。新品のメモリーカードを入れてください。
ピントが合わせられない。	ピントが合いにくい被写体を撮影する場合は、AF/AE ロックを使用して撮影してください。
フラッシュが発光しない。	フラッシュの設定で発光禁止が選ばれていませんか。発光禁止以外の設定を選んでください。
フラッシュが発光したのに、画像が暗い。	・被写体から離れすぎていませんか。フラッシュ撮影が可能な距離内で撮影してください。 ・フラッシュを指などで塞がないよう、カメラを正しく構えてください。
画像がぼやけている。	AF フレームが緑色になっていることを確認して撮影してください。
カメラが正常に作動しない。	・一時的に誤作動を起こしている可能性があります。リセットボタンを押してください。それでも正常に作動しない場合は、弊社修理サービスセンターに修理をご依頼ください。 ・バッテリーが消耗している可能性があります。カメラを充電してください。
フィルムカートリッジが入らない、またはスムーズに入らない。	・富士フイルム インスタントフィルム instax™ mini（別売）を使用してください(他のフィルムは使用できません)。 ・フィルムカートリッジの黄色のマークとカメラの位置合わせマーク（黄色）を合わせて入れてください。
フィルムが排出されない。	・振動や落下などの衝撃で、フィルムがずれている可能性があります。新しいフィルムカートリッジを入れてください。 ・フィルムが詰まっている場合は電源を入れ直してください。それでも改善されない場合は、詰まったフィルムを取り除いてから、新しいフィルムカートリッジを入れてください。
出来上がった写真の一部または全部が白くなっている。	フィルムを使い切るまで、フィルムドアを開けないでください。フィルムが残っている状態でフィルムドアを開けるとフィルムが感光して、感光した部分が白くなります。
写真にむらがある。	・出力された直後に写真を振る、曲げる、折る、押さえるなどしないでください。 ・フィルム排出口を塞がないでください。

仕様

仕様

■カメラ機能

撮像素子		1/5 型 CMOS 原色フィルター
記録画素数		2560 × 1920 ピクセル
記録メディア		内蔵メモリー、microSD ／ microSDHC メモリーカード（別売）
記録枚数		内蔵メモリー約 45 枚、microSD ／ microSDHC メモリーカード 1GB あたり約 850 枚（音無しの場合）
記録方式		DCF 準拠 Exif Ver 2.3
メインカメラ	焦点距離	f=28 ㎜(35 ㎜フィルム換算)
	絞り	F2.0
	オートフォーカス	シングル AF（AF 補助光付）
	撮影可能距離	10 cm ～∞
	フラッシュ	オートフラッシュ / 強制発光 / 発光禁止 撮影可能範囲 約 50 cm ～ 1.5 m
セルフィーカメラ	焦点距離	f=23 ㎜(35 ㎜フィルム換算)
	絞り	F2.2
	オートフォーカス	なし（固定焦点）
	撮影可能距離	41 cm ～∞
	フラッシュ	なし
シャッタースピード		1/4 秒 ～ 1/8000 秒（自動切替）
撮影感度		ISO100 ～ 1600(自動切替)
露出制御		プログラム AE
露出補正		− 2.0 EV ～ + 2.0 EV (1/3 EV ステップ)
測光方式		TTL256 分割測光、マルチ測光
ホワイトバランス		オート
セルフタイマー		約 2 秒 / 約 10 秒
画像エフェクト		フィルター、フレーム、差し替え可能フレーム
音声記録		1 枚につき、撮影時音声記録、再生時音声記録、上書きが可能

■出力機能

フィルム枚数	10 枚 / パック
フィルムサイズ	86 mm × 54 mm
画面サイズ	62 mm × 46 mm
露光画素数	800 × 600 ドット
露光解像度	12.5 ドット /mm（318 dpi、80 μm ドットピッチ）
露光階調	RGB 各色 256 階調
インターフェース	準拠規格：Bluetooth Ver.5.1
出力可能画像フォーマット	カメラ内蔵メモリー及び microSD/microSDHC カードからの場合：本機で撮影した JPEG 画像 スマートフォンからの場合：JPEG、PNG、HEIF
出力時間	約 13 秒
出力機能	内蔵メモリー内の画像＋メモリーカード内の画像をプリント可能
再出力	プリント履歴に保存されている画像（50 枚まで)について、再プリント可能

■その他

スマートフォンアプリ連携機能	スマートフォン画像プリント機能、リモート撮影機能、プリント済み画像データ転送機能、バージョンアップ機能、音声付き画像及びアニメーション動画のプリント／アップロード機能、フレーム転送機能、BGM 転送機能、プリント画質切替機能
液晶モニター	3.0 型 TFT カラー液晶モニター 画素数：約 92 万ドット
外部インターフェース	USB Type-C（充電専用）
電源	リチウムイオン電池（内蔵型）
充電機能	内蔵
出力可能枚数	約 100 枚（フル充電から） ＊使用条件によりプリント枚数は異なります。
充電時間	約 2 ～ 3 時間 ＊気温によって異なります。
本体外形寸法（突起部除く）	83.3 mm × 123.5 mm × 38 mm(レンズ部含め)
本体質量	約 265 g（フィルムパック、記録メディア、ストラップ含まず）

仕様

動作環境	温度：5 ℃～ 40 ℃ 湿度：20 %～ 80 %（結露しないこと）
使用フィルム	富士フイルム インスタントフィルム instax™ mini（別売）

＊上記の仕様は、性能向上のため変更する場合があります。

安全にご使用いただくために

安全にご使用いただくために

●この製品および付属品は、写真撮影・出力以外の目的に使用しないでください。

●製品の安全性には十分配慮しておりますが、下記の内容をよくお読みの上、正しくご使用ください。

⚠警 告

この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

⚠以下のような場合は、直ちにUSBケーブルを外すとともに、電源を切ってカメラの使用を止めてください。

・カメラが熱くなる、煙が出る、焦げ臭いなどの異常が発生したとき

・カメラを水中に落としたり、内部に水、または金属などの異物が入ったとき

⚠カメラにはバッテリーが組み込まれているので、加熱や火中への投入、落としたり、衝撃を加えないでください。破裂の原因となることがあります。

⚠注 意

この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容、または物的損害の発生が想定される内容を示しています。

⚠絶対に分解しないでください。けがの原因となることがあります。

⚠故障した場合は、絶対に自分で修理しようとせずに、お買い上げ店にご相談ください。

⚠落下などにより内部が露出したときは、絶対に触れないでください。けがの原因となることがあります。

⚠フィルムドア内部の部品、突起物には触れないでください。けがや故障の原因となることがあります。

⚠カメラをぬれた手で触らないでください。感電の原因となることがあります。

⚠充電が完了したら速やかにUSB Type-Cケーブルを外してください。

⚠小さいお子様の手の届くところに置かないでください。けがの原因になることがあります。

⚠本製品を布や布団でおおったりしないでください。熱がこもりケースが変形し、火災の原因になることがあります。

CE	このマークは、安全性、衛生、環境及び消費者保護に関するEU（欧州連合）の要求事項を、製品が満足していることを証明するものです。(CEとはヨーロッパ認定（Conformité Européenne）の略)

取扱上のお願い

■カメラの取り扱い

1. **フィルムを使い切るまでは、フィルムドアを開けないでください。途中で開けると、フィルムが感光して白くなり、写真が写りません。**
2. カメラは精密機械ですから、水にぬらしたり、落としたりしてショックを与えないでください。また、砂の掛かりやすいところには置かないでください。
3. 市販のストラップをご使用になる場合は、ストラップの強度をご確認の上、ご使用ください。携帯電話用ストラップは軽量機器用ですので、ご使用の際は特にご注意ください。
4. 汚れをふき取るのにシンナー、アルコールなどの溶剤は使用しないでください。
5. 閉め切った自動車の中や、高温の場所、湿気のある場所、海岸などに長時間放置しないでください。
6. ナフタリンなど防虫剤のガスは、カメラにもフィルムにも有害ですから、たんすなどへの収納は避けてください。
7. このカメラの使用温度範囲は＋5 ℃から＋40 ℃です。
8. 撮影される場合は、著作権、肖像権、プライバシーなどの他人の権利を侵害したり、公序良俗に反したりしないように十分ご配慮ください。他人の権利を侵害する行為、公序良俗に反する行為や迷惑行為は、法令による処罰の対象や損害賠償請求の対象となります。
9. このカメラは一般のご家庭向けのものです。業務用の撮影など、大量に出力する用途には適しておりません。

■液晶モニターの取り扱い

液晶モニターは傷がつきやすいので、硬いものでこすらないように注意してください。傷を防止するために、市販の保護シートを貼ることをお勧めします。

■充電について

バッテリーは出荷時にはフル充電されていません。お使いになる前に必ず充電してください。

・付属のUSB Type-Cケーブルを使用して充電できます。
- 充電は周囲の温度が＋5 ℃～＋40 ℃の範囲で可能です。この範囲外では充電できないことがあります。
- ＋10 ℃～＋35 ℃の温度範囲外で充電する場合、バッテリーの性能を劣化させないために充電時間が長くなることがあります。充電は＋10 ℃～＋35 ℃の温度範囲で行ってください。

■バッテリーの寿命について

常温で使用した場合、約300回繰り返して使えます。使用できる時間が著しく短くなったときは、バッテリーの寿命です。

■使用上のご注意

長時間使用していると、カメラ本体が熱を帯びますが、故障ではありません。

■ラジオ、テレビなどへの電波障害についてのご注意

この装置は、クラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害

を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。
本製品を飛行機や病院の中で使用しないでください。使用した場合、飛行機や病院の制御装置などの誤作動の原因になることがあります。

VCCI-B

■ 本製品が取得している認証関連のマークは、フィルムカートリッジ室内に表示されています。

■ 出力中の注意事項

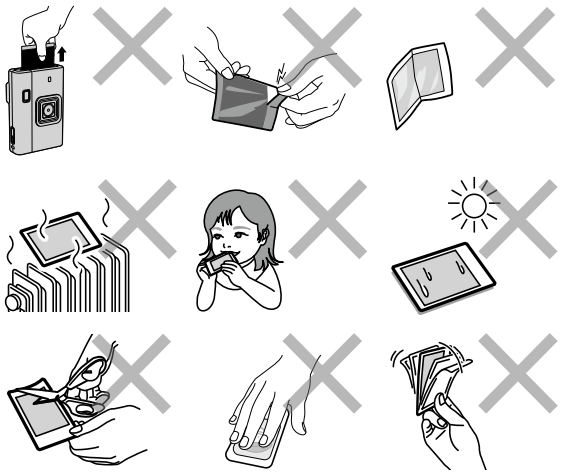
■ フィルム、写真の取り扱い

フィルム、写真の取り扱いかたについては、富士フイルム インスタントフィルム「instax™ mini」の取扱説明を参照してください。

1. フィルムは、涼しい場所に保管してください。特に閉め切った自動車の中などの極端に高温の場所に長時間放置しないでください。
2. フィルムに穴をあけたり、破いたり、切ったりしないでください。フィルムが損傷した場合は、使用しないでください。
3. カメラに入れたフィルムは、できるだけ早く使用してください。
4. フィルムを極端に温度の低い場所や高い場所に置いてしまった場合は、通常の温度になじんでから撮影してください。
5. フィルムは有効期限内にお使いください。
6. 空港の預け入れ荷物検査などでの強いX線照射を避けてください。未使用のフィルムにカブリなどの影響が出る場合があります。手荷物としての機内持ち込みをお勧めします（詳しくは各空港でご確認ください）。
7. 写真は強い光を避け、涼しく乾燥した場所に保存してください。
8. このフィルムの中には黒色苛性アルカリのペーストが入っていますので、切ったり分解しないでください。特に乳幼児やペットが口に入れないよう注意してください。また、ペーストが皮ふや衣服につかないようにしてください。
9. 誤って未使用フィルムのペーストにふれたときは、速やかに水で充分に洗ってください。また、目や口に入った場合は、洗った後に医師の診断を受けてください。なお、このフィルムは、カメラなどから出てから約 10 分間でアルカリ性が弱まります。
10. 撮影した写真を密閉した袋などに入れると、写真が変色する場合がありますので、密閉した状態では保管しないでください。

■ フィルムや出来上がった写真を取り扱うときの注意

詳細は、富士フイルム インスタントフィルム「instax™ mini」の取扱説明を参照してください。



Bluetooth® 機器使用上の注意事項

重要！ 本製品に搭載されている Bluetooth をご使用になる前に必ずお読みください。

■ 本製品は Bluetooth 機器としてお使いください。

Bluetooth 機器以外として使用されたことにより損害が発生した場合、当社はいかなる責任も負いかねますので、あらかじめご了承ください。医療機器や人命に直接的または間接的に関わるシステムなど、高い安全性が要求される用途には使用しないでください。Bluetooth 機器よりも高い信頼性が要求される機器や電算機システムなどの用途に使用するときはご使用になるシステムの安全設計や故障に対する適切な処置を万全におこなってください。

■ Bluetooth 機能はお買い求めいただいた国での利用を前提としています。

本製品の Bluetooth 機能はお買い求めいただいた国の電波に関する法律に準拠しております。ご使用の際は、お使いいただく国の法律を順守してください。お買い求めいただいた国以外でのご使用上のトラブル等については、弊社では一切の責任を負いかねます。

■ 電波によるデータの送受信は傍受される可能性があります。

電波によるデータ（画像）の送受信は傍受される可能性があります。あらかじめご了承ください。

■ 磁場、静電気、電波障害が発生するところでは本製品を使用しないでください。

電子レンジ付近などの磁場、静電気、電波障害が発生するところでは本製品を使用しないでください（環境により電波が届かないことがあります）。また、2.4GHz 付近の電波を使用しているものの近くで使用すると双方の処理速度が落ちる場合があります。

■ 使用周波数帯

本製品の使用周波数は 2.4GHz 帯です。最大出力は 5.65mW となります。

■本製品の使用する無線チャンネルは、以下の機器や無線局と同じ周波数帯を使用します。

- 産業・科学・医療用機器
- 工場の製造ライン等で使用されている移動体識別用の無線局

1. 構内無線局（免許を要する無線局）
2. 特定小電力無線局（免許を要しない無線局）

■本製品を使用する場合は、前項の機器や無線局と電波干渉する恐れがあるため、以下の事項に注意してください。

無線局が運用されていないことを確認してください。
本製品から移動体識別用の特定小電力無線局に対して電波干渉の事例が発生した場合など何かお困りのことが起きたときは、当社サービスセンターへお問い合わせください。

■次の事項を行った場合、法律で罰せられることがあります。

- 本製品を分解、または改造すること
- 本製品上の証明ラベルをはがすこと

■商標について

Bluetooth®のワードマークおよびロゴは、Bluetooth SIG, Inc.が所有する登録商標であり、富士フイルム株式会社はこれらのマークをライセンスに基づいて使用しています。

■本機の無線方式について

2.4 FH 1

2.4： 2.4GHz 帯を使用する無線設備
FH： 変調方式は周波数ホッピング（FH-SS 方式）
1： 想定干渉距離が 10m 以内
▬▬▬：全帯域を使用し、かつ移動体識別装置の帯域を回避不可

カメラを廃棄するときの注意

この製品に使用しているリチウムイオン電池は、リサイクルできます。

本機が不要になりましたら、リチウムイオン電池は商品廃棄時に取り出し、一般ゴミなどと一緒に廃棄はせず、充電式電池の排出協力店・排出協力自治体へお持ちください。

■小形充電式電池のリサイクルについて

小形充電式電池（リチウムイオンバッテリーまたはニッケル水素電池など）はリサイクル可能な貴重な資源です。ご使用済みの電池は、端子を絶縁するためにセロハンテープなどをはるか、個別にポリ袋に入れて最寄りの排出協力店・排出協力自治体にある充電式電池回収 BOX に入れてください。詳細は、「一般社団法人 JBRC」のホームページをご参照ください。
https://www.jbrc.com/

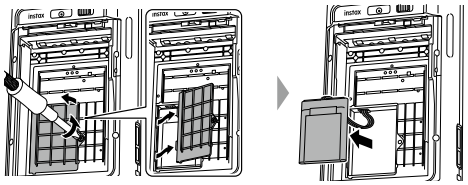
カメラを安全に使用するために、「安全にご使用いただくために」（p.42）をお読みください。

本機を廃棄するときは

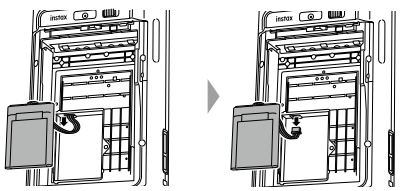
本機を廃棄するときは、本機からバッテリーを取り出し、排出協力店・自治体の指示に従い廃棄してください。

1 **フィルムドアを開いて、フィルムカートリッジを取り出す**

2 **市販品のドライバーを使って、バッテリーカバーを外し、バッテリーを取り出す**



3 **市販品のピンセットを使ってコネクターを外す**



安全にご使用いただくために

アフターサービスについて

お手持ちの製品が故障した場合には、次の要領で修理させていただきます。
ご購入店または富士フイルム フィルムカメラお客さま相談窓口にお申し出ください。
それ以外の責は、ご容赦いただきます。なお、保証、使い方などのご不明な点につきましても、富士フイルム フィルムカメラお客さま相談窓口をご利用ください。

■ 無料修理

故障した製品についてはご購入年月日、購入店名の記入された、ご購入日より 1 年以内の保証書が添付されている場合には、保証書に記載されている内容の範囲内で、無料修理させていただきます。

＊詳しくは、製品保証規定をご覧ください。

■ 有料修理

保証期間を過ぎた修理は、原則として有料となります。保証期間内であっても、製品保証規定の「2.」の場合はすべて有料となります。また運賃諸掛かりは、お客様にてご負担願います。

■ 修理不能

浸（冠）水、強度の衝撃、その他で損傷がひどく、故障前の性能に復元できないと思われるもの、および部品の手当が困難なものなどは修理できない場合もありますので、富士フイルム フィルムカメラお客さま相談窓口にお問い合わせください。

■ 修理部品の保有期間

この製品の補修用部品は、製造打ち切り後 5 年を目安に保有しておりますので、この期間中は原則として修理をお引き受けいたします。

■ 修理ご依頼に際してのご注意

1. 保証規定による修理をお申し出になる場合には、必ず保証書を添えてください。
2. ご購入店や弊社サービスステーションで、ご指定の修理箇所、故障内容を詳しくご説明ください。故障の状態によっては、事故となったフィルムなどを添えてくださると修理作業の参考になります。
3. 修理箇所のご指定がないときは、弊社では各部点検をはじめ品質、性能上必要と思われるすべての箇所を修理しますので、料金が高くなることがあります。
4. 修理に関係のない付属品類は、紛失などの事故を避けるため、修理品から取り外してお手もとに保管してください。
5. 修理のために製品を郵送される場合は、ご購入時の外箱などに入れてしっかり包装し、必ず書留小包でお送りください。
6. 修理期間は故障内容により多少違いますが、普通修理品の場合は弊社サービスステーションで、お預かりしてから通常 7 ～ 10 日位をご予定ください。

■ 海外旅行中の故障

本製品の保証書は国内に限り有効です。万一、海外旅行中に故障や不具合が生じた場合は、帰国された後、富士フイルム フィルムカメラお客さま相談窓口にお問い合わせください。

個人情報の取扱について

当社は、お客様の住所・氏名・電話番号等の個人情報を大切に保護するため、個人情報保護に関する法令を遵守するとともに、電話問い合わせ時あるいは修理依頼時にご提供いただいたお客様の個人情報を次のように取扱います。

1. お客様の個人情報は、お客様のお問い合わせに対する当社からの回答、修理サービスの提供およびその後のユーザーサポートの目的にのみ利用いたします。
2. 弊社指定の宅配業者、修理業務担当会社、その他の協力会社に当社が作業を委託する場合、委託作業実施のために必要な範囲内でお客様の個人情報を開示することがございます。開示にあたりましては、盗難･漏洩等の事故を防止し、また当社より委託した作業以外の目的に使用しないよう、適切な監督を行います。
3. ご提供いただいたお客様の個人情報に関するお問い合わせ等は、富士フイルム フィルムカメラお客さま相談窓口あるいは修理依頼先サービスステーション宛にお願いいたします。

Independent JPEG Group ライセンス
本ソフトウェアの一部は Independent JPEG Group の著作物に基づくものです。

FUJIFILM, *instax*, *instax mini LiPlay*, *instax Sound Print* 及び *instax Sound Album* は富士フイルム株式会社の登録商標または商標です。

© 2025 FUJIFILM Corporation. All rights reserved

●本製品に関するお問い合わせ

富士フイルム フィルムカメラお客さま相談窓口

0570-04-1640（ナビダイヤル）

●修理に関するお問い合わせ

富士フイルム フィルムカメラ修理相談窓口

0570-06-6092（ナビダイヤル）

▶お問い合わせに関する最新情報などは弊社ホームページ（QR コードよりアクセス）でご確認ください。

▶富士フイルムグループでは、お客さまからのお問い合わせ内容を正確に把握するために録音させていただくことがあります。

最新の情報は弊社ホームページでご確認ください。
富士フイルムホームページ：https://www.fujifilm.com/jp/ja

FUJIFILM

FUJIFILM Corporation
7-3, AKASAKA 9-CHOME, MINATO-KU, TOKYO 107-0052, JAPAN